

■源高明(西宮左大臣) 公卿。朝儀に精通して出世、左大臣に昇った直後、〈安和の変〉で排除された。光源氏モデル説も。

みなもとのたかあきら
12ヶ条意見・914=

源唱女更衣周子を母に、醍醐天皇の第10皇子に生まれる。

..... 920= 6歳：_臣籍降下し、源の姓を賜与される。

道真本官復位 923= 9歳：

..... 929=15歳：元服。
忠平摂政復活 930=16歳：従四位上に叙せられる。
宇多上皇没・931=17歳：近江権守。
..... 932=18歳：正四位下に叙せられ、_昇殿。

承平天慶乱始 935=21歳：母源周子が死去。大蔵卿。

平将門新皇・939=25歳：_参議となり、

..... 940=26歳：

承平天慶乱終 941=27歳：

村上天皇即位 946=32歳：讃岐守。
..... 947=33歳：室(藤原実頼女)が死去。従三位。_権中納言。
京群盗横行・948=34歳：_檢非違使別当。

..... 950=36歳：_学問を好み、朝儀・有職故実に練達し、「西宮記」を著した(執筆年代は不明)。和歌にも優れ、

吳越王に書・953=39歳：内裏で庚申の遊びが行われた際には、朱雀院乳母の備前命婦が簾中で琴を弾くのに合わせて、琵琶を弾く。
*大納言。この頃には完成したらしい「後撰和歌集」に10首、その後の勅撰和歌集に22首が採録されている。

..... 955=41歳：正三位。
朝廷の実力者でかつ高明と同じく故実に通じた藤原師輔の三女を妻とし、この妻が没すると五女の愛宮を娶って友好関係を結び、妻の姉の安子は村上天皇の中宮であり、東宮(皇太子)憲平親王、為平親王、守平親王を産み、高明は安子に信任され中宮大夫を兼ね、自らの娘を為平親王の妃とするなどして、師輔以外の藤原氏から、将来、天皇の外戚になると恐れられるようになり、

..... 959=45歳：
..... 961=47歳：従二位。

..... 963=49歳：請により、奨学院に年官が与えられる。

..... 966=52歳：*右大臣となり、
延暦式施行・967=53歳：正二位。左近衛大将を兼ねた。
..... 968=54歳：憲平親王の冷泉天皇即位に伴い。*左大臣に昇るが、藤原氏の策謀で孤立、
安和の変・969=55歳：*安和の変により失脚、大宰員外帥として配流された。右京四条の彼の広大な西宮第は配流後炎上する。

..... 971=57歳：_罪を赦されて
..... 972=58歳：_帰京するも、政界に復帰することは無く葛野に隠棲、

尾張国守罷免 974=60歳：封戸300戸が与えられる。

..... 977=63歳：

..... 983=69歳：_没した。